

浮間さくら草祭り

桜草が咲き始める4月の中旬～下旬にかけて行われます。約1,600㎡の圃場には、ピンクを中心に赤、白の可憐な花をつけた桜草が、約5万株植えられています。また、圃場の隣の氷川神社では、鉢植えの桜草の販売なども行っています。



住 浮間2-30 (JR浮間舟渡駅徒歩5分)
電 03-5390-1234 (北区産業振興課産業振興係)
時 4月中旬～下旬

浮間ヶ原桜草圃場

もともと荒川沿いの湿地帯だった浮間ヶ原は、桜草の群生地として有名でした。江戸時代からたくさんのお花見客で賑わい、明治の全盛期には臨時の渡し舟が出てあちこちに茶店が並ぶほどの盛況ぶりだったそうです。しかし、河川改修工事や工場の進出などによる自然環境の急変により、桜草は生息条件が保てず次第にその姿を消していきました。

現在は、浮間原種の桜草を後世に残すため浮間ヶ原桜草保存会が桜草圃場で栽培育成を行っています。



赤羽馬鹿祭り

およそ500年前、太田道灌は赤羽の高台に、稲付城を築きました。道灌は文武両道に秀で、特に詩歌管弦の遊びには遠く京の都から師を招いて地元民への普及につとめたといわれています。その故事にちなんで昭和31年4月1日に赤羽東口7つの商店街が主催し、第1回「赤羽馬鹿祭り」が開催されました。名称の由来は開催日がエイプリルフールであったこと。半世紀以上続くイベントで、マーチングバンドや踊り仮装、神輿のパレードは圧巻です。



住 赤羽東口駅前1帯 (JR赤羽駅すぐ)
電 03-3901-4303 (赤羽スズラン通り商店街)
時 4月下旬～5月上旬

名探偵★浅見光彦の住む街ミステリーウォーク

北区アンバサダーで作家の内田康夫氏の小説の主人公・浅見光彦が住む街は、西ヶ原を舞台としています。ミステリーウォークとは、参加者が探偵となって、ミステリー手帖を片手に、ヒントを探しながら街を歩き、謎を解いていくイベントです。街を散策しながら地域の新たな魅力や気付きがあった魅力を皆さんで発見してください。近隣の旧古河庭園のバラの見頃の時期に開催しているので、一緒に散策してみたいいかがでしょうか。



商店街キャラクター「シーちゃん」

住 西ヶ原1-54～63 [霜降銀座商店街]
(JR・東京メトロ南北線駒込駅徒歩5分)
時 5月中旬～下旬
HP <http://www.shimofuri-ginza.com/>

桜ウォーク

「歩くことから始める健康づくり」の普及をめざして、「元気で輪っしょい!桜ウォーク」を開催しています。毎年、子どもから高齢者まで、2,000人を超える方たちが参加して、満開の桜を楽しみながら、まち中の少し長めの「ロング・ウォーキング」を満喫しています。

コースは、北区役所から石神井川沿いの遊歩道を歩き板橋(橋の名称)で折り返す、約6.5km。体力にあわせて途中で折り返してもOK。健康づくりグループと北区が、協働で企画や運営を行っています。



電 03-3908-9068 (北区健康推進課健康づくり推進係)
時 3月下旬～4月上旬
(小雨決行)
※当日受付でどなたでも参加できます。